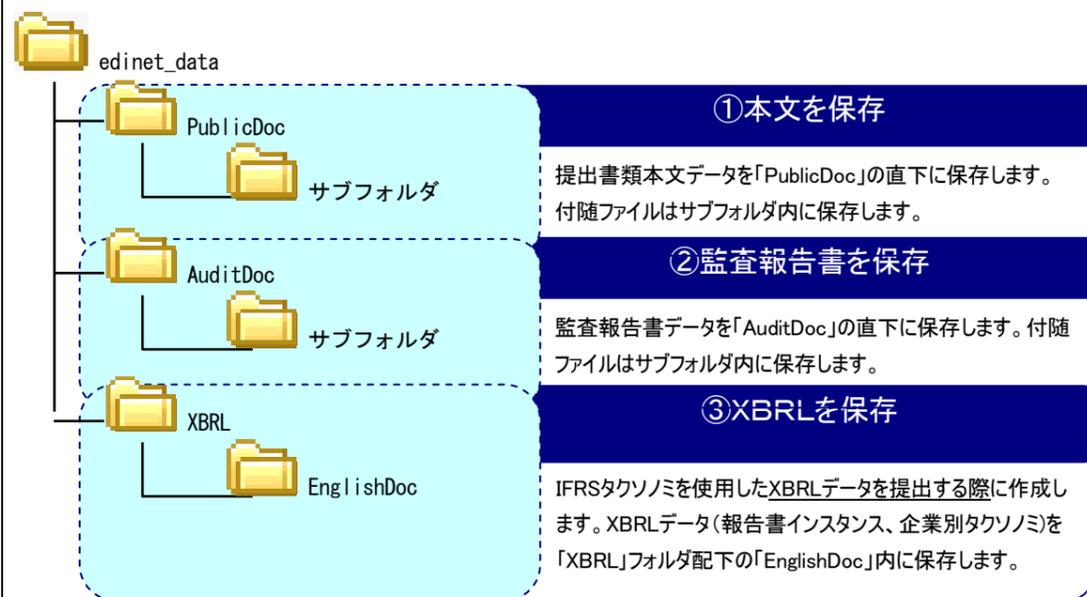


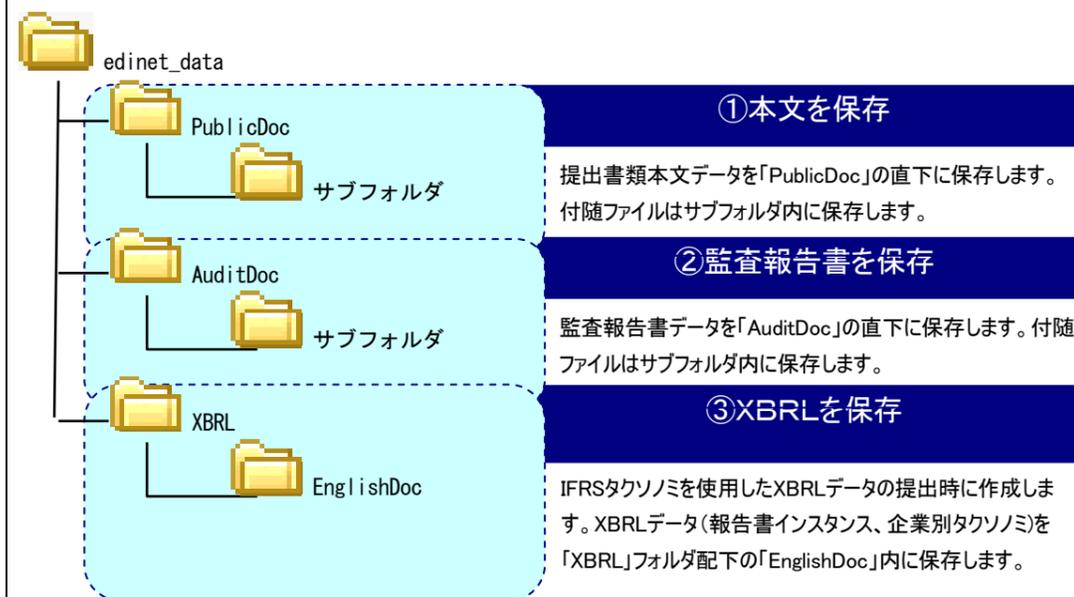
○提出ファイル仕様書（その2：IFRS適用提出者用）一部改正新旧対照表

| 新 | 旧 |
|---|---|
| <p>表紙</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">IFRSタクソノミ2010 対応</div> <p>本書について</p> <p>本書では、IFRSタクソノミを使用したXBRLデータを含む書類を提出する場合におけるファイル作成仕様について、EDINETタクソノミを使用した書類提出時との、XBRLデータ（報告書インスタンス、企業別タクソノミ）作成以外の相違点について説明しています。</p> <p>本書に記載以外のファイル作成仕様はEDINETタクソノミを使用した際と同様となりますので「提出書類ファイル仕様書」（EDINETタクソノミ対応、2011年1月25日。以下、「提出ファイル仕様書（その1）」）をご参照ください。</p> <p>1 使用するフォルダについて</p> <p>IFRSタクソノミを使用したXBRLデータを含む書類を提出する場合は、以下のようなフォルダを作成します。</p> <p>次図は「edinet_data」というルートフォルダの配下に、各提出用フォルダを作成した場合の例です。</p> <p>IFRSタクソノミを使用したXBRLデータを提出する際は、「XBRL」フォルダ配下の「EnglishDoc」へ格納します。このとき、EDINETタクソノミを用いたXBRLデータについても、同様に「XBRL」フォルダ配下の「EnglishDoc」へ格納します。</p> <p>本文データは日本語となりますので通常通り「PublicDoc」の中へ格納します。</p> <p>EDINETタクソノミを用いた提出と同様に、「AuditDoc」の作成と必要に応じて、「AttachDoc」、「PrivateDoc」、「PrivateAttach」の各フォルダを作成可能です。詳しくは、「提出書類ファイル仕様書」をご参照ください。</p> | <p>(追加)</p> <p>本書について</p> <p>本書では、IFRSタクソノミを使用した提出書類作成時のXBRLデータ（報告書インスタンス、企業別タクソノミ）作成以外のファイル作成仕様について、EDINETタクソノミを使用した書類提出時との相違点について説明しています。</p> <p>本書に記載以外のファイル作成仕様はEDINETタクソノミを使用した際と同様となりますので「提出書類ファイル仕様書」をご参照ください。</p> <p>1 使用するフォルダについて</p> <p>IFRSによる書類を提出する場合は、以下のようなフォルダを作成します。</p> <p>次図は「edinet_data」というルートフォルダの配下に、各提出用フォルダを作成した場合の例です。</p> <p>IFRSタクソノミを使用したXBRLデータを提出する際は、「XBRL」フォルダ配下の「EnglishDoc」へ格納します。このとき、EDINETタクソノミを用いたXBRLデータを同時提出する場合であっても、同様に「XBRL」フォルダ配下の「EnglishDoc」へ格納します。</p> <p>本文データは日本語となりますので通常通り「PublicDoc」の中へ格納します。</p> <p>EDINETタクソノミを用いた提出と同様に、「AuditDoc」の作成と必要に応じて、「AttachDoc」、「PrivateDoc」、「PrivateAttach」の各フォルダを作成可能です。詳しくは、「提出書類ファイル仕様書」をご参照ください。</p> |

● IFRS適用による書類を提出する場合のフォルダの構成



● IFRS適用による書類を提出する場合のフォルダの構成



2-2 IFRSタクソミを使用したXBRLとEDINETタクソミを使用したXBRLを同時提出する場合

IFRSタクソミを使用したXBRLデータとEDINETタクソミを使用したXBRLデータを同時に提出する場合、いずれのXBRLデータも「XBRL」フォルダ配下の「EnglishDoc」を使用してEDINETに提出します。この場合、いずれのXBRLデータもHTMLへの変換は行われなことに留意して下さい。

IFRSタクソミを使用したXBRLデータについては、表示情報ファイルの提出は必要ありませんが、EDINETタクソミを使用したXBRLデータについては、表示情報ファイルを提出するものとします。

表示情報ファイルの作成については「提出書類ファイル仕様書(その1)」をご参照ください。

2-2 IFRSタクソミを使用したXBRLとEDINETタクソミを使用したXBRLを同時提出する場合

IFRSタクソミを使用したXBRLデータとEDINETタクソミを使用したXBRLデータを同時に提出する場合、「XBRL」フォルダ配下の「EnglishDoc」を使用してEDINETに提出します。この場合、いずれのXBRLデータもHTMLへの変換は行われなことに留意して下さい。

IFRSタクソミを使用したXBRLデータについては、表示情報ファイルの提出は必要ありませんが、EDINETタクソミを使用したXBRLデータについては、表示情報ファイルを提出するものとします。

表示情報ファイルの作成については「提出書類ファイル仕様書」をご参照ください。